

令和 2 年度 10 月入学  
帯広畜産大学大学院畜産学研究科  
獣医学専攻（博士課程）  
学生募集要項  
（一般選抜）

Application for Admission to the Doctoral Program of Veterinary Science

Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture  
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Starting in October, 2020

General Admission

# 試 験 日 程

## 令和2年度10月入学 一般選抜

出願資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和2年7月3日 (金)	
出願期間 (検定料払込期間)	令和2年7月6日 (月) ~令和2年7月10日 (金) (令和2年6月29日 (月) ~令和2年7月10日 (金))	
試験実施日	専門科目 英 語	令和2年8月18日 (火)
	面 接	令和2年8月19日 (水)
合格発表日	令和2年8月25日 (火)	
入学手続期間	令和2年8月25日 (火) ~令和2年9月11日 (金)	

## 目 次

1 募 集 人 員 .....	1
2 出願資格・要件 .....	1
3 出願資格の認定（書類審査） .....	2
4 障がい等のある志願者との事前相談 .....	2
5 出 願 手 続 .....	3
6 入学者選抜方法 .....	5
7 試験期日及び試験場 .....	5
8 合 格 発 表 .....	5
9 入 学 手 続 .....	6
10 個人情報取扱について .....	6
◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）案内 .....	7
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先 .....	10

## Entrance Examination Schedule

### The 1st General Admission Starting in October, 2020

Deadline for authorization for qualified applicants (If applicable)	Friday, July 3, 2020	
Application period (Payment period of examination fee)	From Monday July 6, 2020 to Friday, July 10, 2020 (From Monday June 29, 2020 to Friday, July 10, 2020 )	
Date of examination	Specialized subject and English	Tuesday, August 18, 2020
	Interview	Wednesday, August 19, 2020
Date of notification of admissions	Tuesday, August 25, 2020	
Enrollment period	From Tuesday, August 25, 2020 to Friday, September 11, 2020	

## Contents

1	Number of Students to be Admitted .....	11
2	Application Criteria .....	11
3	Authorization for Qualified Applicants .....	13
4	Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities .....	13
5	Application Procedure .....	14
6	Method of Selection .....	16
7	Time, Date and Location of Examination .....	16
8	Notification of Admission .....	16
9	Enrollment Procedures .....	17
10	Privacy Statement .....	17
	©Description of the Doctoral Program .....	18
	©Application and enquiries .....	21

## 1 募集人員

専攻・課程	募集人員
	一般選抜
獣医学専攻 博士課程	若干人

※ 専攻の概要、担当教員については7ページ以降を参照ください。

## 2 出願資格・要件

次の(1)～(8)のいずれかに該当する者

- (1) 大学における修業年限6年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者又は令和2年9月までに卒業見込の者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了した者又は令和2年9月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了した者又は令和2年9月までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は令和2年9月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が5年以上である課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和2年9月までに授与される見込みの者【注1】
- (6) 大学における修業年限6年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者【注2】
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
  - ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
  - ② 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
  - ③ 修士課程又は専門職学位課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本学大学院において、修業年限6年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
  - ④ 修業年限4年の大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修業年限6年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者【注2】
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者【注2】

【注1】：大学（最終の課程が獣医学，医学，歯学又は薬学であるものに限る）卒業まで18年に満たない国の大学卒業（見込み）者で，出願資格(5)に該当しない場合は，出願資格(8)の個別の入学資格審査が必要となります。

【注2】：出願資格(6)，(7)④，(8)により出願する者については，出願資格の認定が必要ですので，2ページの「3 出願資格の認定（書類審査）」を参照してください。

### 3 出願資格の認定（書類審査）（該当者のみ）

出願資格(6)，(7)④，(8)で出願しようとする者は，出願に先立って出願資格審査を行いますので，下記の提出書類を提出期限までに提出してください。

なお，郵送の場合は必ず書留速達としてください。

提出書類	(1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書 (3) 成績証明書（履修状況を証明する書類） (4) 研究歴証明書（研究期間，研究内容は必ず記載） (5) 研究成果資料
提出期限	令和2年7月3日（金）
提出・問合せ先	帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

※ 出願資格認定申請書の様式は，本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」をご覧ください。

### 4 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がい等のある者については，受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので，下記の期限までに本学と相談を行ってください（日常生活において，ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください）。

提出書類	(1) 事前相談書 ※ (2) 医師の診断書 (3) その他障がいの状況がわかる書類（障害者手帳の写し等）
提出期限	令和2年7月10日（金）
提出・問合せ先	帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

※ 事前相談書の様式は，本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/admissions>

上記ウェブサイト内の「障がいのある志願者との事前相談」をご覧ください。

## 5 出願手続

### (1) 出願書類等

出願書類等		摘要
1	入学志願票 受験票 写真票	*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真(縦4cm横3cm)は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください(受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください)。
2	検定料の「振替払込受付証明書(お客様用)」(日附印が押印されたもの)	検定料(30,000円)を払い込み後、出願書類の所定の場所に貼って提出してください。 納入方法は、4ページの(2)を参照してください。 <b>※令和2年9月に本学大学院修士課程又は博士前期課程修了見込みの者は進学者となるため、検定料は納付不要です。</b> <b>※国費外国人留学生は、検定料は納付不要ですので、「国費外国人留学生証明書」(在学している大学が発行したもの。写しでも可。)を提出してください。</b>
3	研究計画書	大学院において行おうとする研究内容を記載してください。 作成要領は4ページの(3)を参照してください。
4	修業年限6年の学部・学科の卒業(見込)証明書又は修士課程修了(見込)証明書	<b>※本学の卒業・修了(見込)者及び国費外国人留学生は提出不要</b>
5	成績証明書	厳封したものを提出してください。 ・修業年限6年の学部・学科の卒業(見込)者は出身大学のもの ・修士課程修了(見込)者は出身大学及び出身大学院のもの <b>※本学の卒業・修了(見込)者及び国費外国人留学生は提出不要</b>
6	卒業論文又は修士論文等の要旨	卒業論文又は修士論文の内容の要旨、若しくは現在進行中のものは途中経過の要旨(2,000~4,000字程度)を提出してください。 卒業論文等が課されていない場合は、これまでの研究内容の要旨(学力を表す論文、報告書等の要旨)を提出してください。
7	あて名票(合格通知書送付用)	本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
8	TOEIC公式認定証、TOEFL公式スコアレポート、IELTS成績証明書	以下のうち、いずれか一つの原本を提出してください。平成30年4月1日以降に受験したものに限り、(原本は受験票送付時に返却します。) ・TOEIC L&R公式認定証(650点以上)(TOEIC-IPも可) ・TOEFL iBTスコアレポート(67点以上) ・IELTS Academic-moduleの成績証明書(5.5以上) <b>※英語筆記試験の免除希望者のみ提出</b>
9	受験票送付用封筒	本学所定の封筒(小)に郵便番号・住所・氏名を明記し374円分の切手を貼ったものを提出してください。 <b>※入学試験係に受験票を直接取りに来る場合は氏名のみを記載し、切手を貼る必要はありません。</b>
10	住民票の写し又は在留カードの写し	住民票の写しの場合、出願締切日から6か月以内に発行されたもので、在留資格、在留期間が記入されているものを提出してください。 <b>※外国人のみ提出</b>
11	受験承諾書	官公庁・企業等に在職している者は所属長または代表者が作成し押印したものを提出してください。 <b>※該当者のみ提出</b>

注： 出願書類のうち英語以外の外国語で発行された書類については、日本語訳を添付してください。



(2) 検定料の納入方法

本学所定の払込取扱票により、払込期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口取扱いは通常平日は16時まで、土・日曜日及び祝日は休業ですのでご注意ください。

区 分	払 込 期 間
一般選抜 (10月入学)	令和2年6月29日(月)～令和2年7月10日(金)

注1： 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

- ア) 出願しなかった場合
- イ) 出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 Tel 0155-49-5321

注2： 検定料が払い込まれていない場合や「振替払込受付証明書」に郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押印されていない場合は出願を受理できません。

(3) 研究計画書の作成要領

**大学院で実施する研究について、受入れを希望する教員と必ず連絡を取って相談の上、作成してください。**

日本語の場合は2,000字程度、英語の場合はA4版用紙で2枚程度とします。

研究計画書には以下の3つの内容を明確に記すこと。

1. 研究の背景と目的(詳細に記すこと)
2. 研究の方法概略(技法等の詳細な記述は必要なく、研究全体の流れを簡潔に記すこと)
3. 予想される研究結果(詳細な記述は必要なく、研究目的に沿って簡潔に記すこと)

研究計画書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」のページをご覧ください。

(4) 出願方法及び出願期間

出願書類は、一括して本学所定の封筒(大)若しくは角型2号の封筒に入れ、持参又は郵送してください。

① 持参の場合

受付時間は、8時30分から17時までとします。ただし、土・日曜日及び祝日を除きます。

② 郵送の場合

必ず「書留速達」扱いとしてください。**出願期間最終日の17時必着とします。**

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

区 分	出 願 期 間
一般選抜 (10月入学)	令和2年7月6日(月)～令和2年7月10日(金)

(5) 出願書類等の提出先

帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

なお、出願書類等は、返還することができません。

## 6 入学者選抜方法

### 一 一般選抜

学力検査, 面接 (卒業論文・修士論文の要旨 (またはこれまでの研究内容の要旨), 研究計画書及び成績証明書の内容を考慮する) を総合して行う。

科目名	配点	内容等
英語	100点	獣医学分野に関する英文の読解力を問う。 ※ ただし, TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 650 点以上, TOEFL-iBT 67 点以上, IELTS 5.5 以上のスコア票又は公式認定証 (平成 30 年 4 月 1 日以降に受験したものに限り) を提出した者は英語の試験を免除し, 得点は本学の定める基準により 80~100 点で換算する。
専門科目	100点	志望する教育研究指導分野毎に出題する (9 ページ参照)。
面接	100点	教育研究指導分野毎に複数の面接官による個人面接とし, 研究計画等に関するプレゼンテーション (10 分) 及びその内容に関する口頭試問 (20 分) を含む。

## 7 試験期日及び試験場

令和 2 年度 10 月入学  
一般選抜

実施期日	科目等	時間	試験場
令和 2 年 8 月 18 日 (火)	専門科目	10:30~12:00	帯広畜産大学
	英語	13:00~14:30	
令和 2 年 8 月 19 日 (水)	面接	出願後に調整	帯広畜産大学

※ 面接当日のプレゼンテーションのデータを Microsoft Power Point で作成して, 令和 2 年 8 月 14 日 (金) までに入学試験係まで持参または郵送してください。

※ 令和 2 年 8 月 17 日 (月) 10 時から試験場案内図を受験者入口 (総合研究棟 I 号館入口) に掲示しますが, 試験室内に入ることはできません。

## 8 合格発表

(1) 下記により合格者の受験番号を発表します。

区分	発表日時	場所
一般選抜 (10 月入学)	令和 2 年 8 月 25 日 (火) 10:00	本学総合研究棟 I 号館玄関 及び本学ホームページ <a href="https://www.obihiro.ac.jp/">https://www.obihiro.ac.jp/</a>

(2) 合格者で本学に在学する者には, 受験票と引き換えに合格通知書及び入学手続きに必要な書類を入試・教務課入学試験係で交付します。その他の合格者には郵送します。

(3) 電話等による合否に関する問い合わせには, 応じられません。

## 9 入学手続

### (1) 入学手続期間

区 分	手 続 期 間
一般選抜 (10月入学)	令和3年1月6日 (水) ~令和3年1月14日 (木)

※ 最終日 17時必着

### (2) 入 学 料 282,000 円

注：令和2年9月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本課程に進学する者は、入学料は不要です。

### (3) その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料 (正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置)  
4,730 円

授業料について (参考)

前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

※上記の納付金は現行額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

※納入期限は、前期分が4月末日、後期分については10月末日です。

## 10 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係(修学指導等)、学生支援関係(奨学金申請・授業料免除申請等)に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用しますので、合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

# 帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）案内

## 1 大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程） 教育ポリシー（方針）

### ○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、「獣医・農畜産学融合」「海外の大学との協力」による教育体制により、食と農のグローバル化を背景にした専門的知識及び創造性と優れた研究開発能力・教育能力を備えた豊かな人間力を持つ研究者・教育者を養成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 獣医学や農畜産学に関する国際的な視野を持って、高いコミュニケーション能力を身につけて国際水準の先端的な研究を展開できる教育者・研究者を目指す人
2. 獣医・農畜産学融合分野において自らの研究成果を社会に還元し、動物や人の健康、地球環境や生態系の保全、産業や生命科学の発展に中心的な役割を担い国内外を問わず社会貢献することに意欲のある人
3. 獣医学専攻の特定分野に関する総合的な知識や先端的研究を探究したい人
4. 獣医学やその関連分野に関する学士課程までの基礎知識と基礎的技術及び応用能力を身に付けている人、または他分野に関する修士課程までの基礎知識と基礎的技術及び応用能力を身に付けている人

### ○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、臨床獣医学、基礎獣医学、公衆衛生学等の獣医学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使した先端研究を担うため、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観
  - ・基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の獣医学分野における最新の知識と技術と伴侶動物、産業動物及び野生動物を対象として高度な最先端医療技術や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観を身につけている人
2. 国際通用力・リーダーシップ
  - ・生体内部のミクロレベル、個体及び個体群を対象としたマクロレベル、さらに家畜生産を含めた広範囲な生命科学研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
  - ・生体内部、個体及び個体群を対象とした生態学的研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
  - ・動物医科学に関する幅広い専門分野の知識を身につけ、国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
  - ・食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献できる能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力
  - ・基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学等の獣医学分野における専門性について、思考・判断の過程を説明するために国際通用性のあるプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術
  - ・食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献でき、獣医学分野、農畜産学分野及びその学際的分野に関する国際的な視野を持って、獣医学のグローバル化に伴う多様な社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを発揮し、国際水準の先端的な研究能力を身につけている人

### ○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）ディプロマポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

1. 研究者としての高度な倫理観の養成
  - ・eラーニングやアクティブラーニングを用いた、高度な倫理観を養成する科目を配置します。
2. リーダーシップの養成
  - ・社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを有する教育者・研究者を育成するために、高度な知識と技

術を習得し、全体を統括できる能力を習得させる科目を配置します。

- ・優れた教育者・研究者になるために教育・研究スキルを実践的に修得できる科目を配置します。

### 3. 国際通用力の養成

- ・海外での活動を見据え、英語によるプレゼンテーション能力や、ディベート能力及び論文作成能力を高める科目を配置します。
- ・最先端の研究能力を修得するため、海外の大学との協力体制による研究インターンシップやフィールドワーク等の国際通用力を養成する科目を配置します。

### 4. 博士人材としての総合研究力の養成

獣医・農畜産融合の視点から、幅広く専門性の高い知識を分野横断的に修得するために共通科目を配置するとともに他専攻科目を選択科目として配置します。さらに地球規模課題の解決を目的として、国際水準の先端的な研究能力を修得するための科目を配置します。

### 5. 国際的に活躍・貢献できる研究者の育成を目指し、獣医科学及び関連分野の先端的な専門知識と高度な専門技術を習得させるため、教育の中心となる「専攻コア科目」を必須科目として配置し、高度な専門的知識を修得する科目を用意します。

### 6. 食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

## 2 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究所獣医学専攻（博士課程）に4年以上在学して所定の単位（30単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文関連科目の最終試験に合格した者を課程の修了者とし、「博士（獣医学）」の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に3年以上在学すれば足りるものとします。

## 3 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有するなどの事情により、標準修業年限を越えた一定の期間（8年以内）で計画的に教育課程を履修し課程を修了したい方に、標準修業年限の学費で、その長期の計画的な履修を認めるものです。

長期履修を希望する方は、あらかじめ主指導を希望する教員と相談の上、原則として入学手続き時に申請書を提出してください。

## 5 大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）担当教員一覧

氏名	職名	専門科目	教育研究指導分野	
			名称	内容
五十嵐 慎	教授	獣医寄生虫学	耐病性遺伝子工学	原虫の宿主細胞内寄生機構に関する研究
石井 利明	教授	獣医薬理学	神経薬理学	脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明
石川 透	教授	獣医生理学	細胞生理学	上皮細胞に機能発現する膜輸送タンパクの構造機能連関と細胞内調節機構
小川 晴子	教授	獣医伝染病学	獣医伝染病学	動物ウイルス病についての研究
河津 信一郎	教授	獣医寄生虫学	原虫病予防治療学	原虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法の開発
川本 恵子	教授	獣医微生物学	獣医感染症学	1) 水性・陸生動物由来感染症の発症機序, 病態, 疫学及び診断法に関する研究 2) アレルギー疾患
玄 学南	教授	獣医寄生虫病学	生体防御学	原虫感染に対する宿主防御免疫の解析と組換えワクチンの開発
古林 与志安	教授	獣医病理学	診断病理学	動物疾患の病理発生機序解明と診断法の確立
佐々木 基樹	教授	獣医解剖学	獣医解剖学	脊椎動物の機能形態学
□鈴木 宏志	教授	実験動物学	ゲノム機能学	発生工学による遺伝子の機能解析及び発生・生殖工学的技術開発
南保 泰雄	教授	馬繁殖学	生殖内分泌学 馬生産獣医療学	1) 馬の臨床繁殖学 2) 繁殖生物学 3) 生殖内分泌学等に関する研究
西川 義文	教授	獣医寄生虫病学	感染免疫学	病原性原虫感染症の発症機序に関する研究
△古岡 秀文	教授	獣医病理学	病態病理学	神経筋疾患の病理, 感染症の病理(動物プリオン病, <i>Lawsonia</i> 感染症等)
松井 基純	教授	獣医臨床繁殖学	繁殖障害診断治療学	ウシの卵巣および子宮機能異常による繁殖障害の病態生理の解明
山岸 則夫	教授	獣医臨床病理学	牛病学	牛疾患の病態と診断・治療法
横山 直明	教授	獣医寄生虫病学	原虫病高度診断学	家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立
奥村 香世	准教授	獣医微生物学	細菌学	細菌の病原性分子機構の解明とその診断法の確立
久保田 彰	准教授	毒性学	環境毒性学	人工化学物質の生体影響と作用機序に関する研究
都築 直	准教授	画像診断学	産業動物外科学	産業動物に対する画像診断に関する研究
豊留 孝仁	准教授	獣医微生物学	獣医真菌学	1) 真菌症 2) マイコトキシン中毒 3) 食品真菌学
廣井 豊子	准教授	獣医公衆衛生学	病原細菌学	病原細菌(食品有害細菌, 人獣共通感染症起因細菌)に関する細胞分子生物学的研究(病原性発現機序や診断・検出法の開発)
福本 晋也	准教授	獣医寄生虫学	ベクター生物学	ベクターにおける病原体感染成立機構

△印の教員は定年のため、指導可能期間が令和5年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

□印の教員は定年のため、指導可能期間が令和6年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

氏名	職名	専門科目	教育研究指導分野	
			名称	内容
松本 高太郎	准教授	大動物内科学	獣医内科学	大動物の感染症の診断および治療に関する研究
室井 喜景	准教授	獣医薬理学	神経薬理学	動物の本能行動を司る神経機構の解明

### 出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地  
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係  
 TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)  
 E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

### 帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。  
 アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp/>

## 1. Number of Students to be Admitted

Program	Number of Students to be Admitted
	General Admission
Doctoral Program of Veterinary Science	Limited

\*See page 18 and after for the program outlines and supervisors.

## 2. Application Criteria

To apply for General Admission, one must meet one of the following criteria:

- (1) Those who have completed a six-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine, or are expected to do so on or before September 30, 2020.
- (2) Those who have completed outside Japan an 18-year school education (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or are expected to do so on or before September 30, 2020.
- (3) Those who have completed an 18-year school education of a country other than Japan by taking a program of a university in that country through distance learning in Japan (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or are expected to do so on or before September 30, 2020.
- (4) Those who have completed a program of an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, whose graduates are regarded as having completed 18 years of formal education of that country (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or are expected to do so on or before September 30, 2020.
- (5) Those who have been conferred, or expect to be conferred by September 30, 2020., a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and completing a program that requires 5 years or longer to complete (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) (including completing a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as completing a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and have received the designation mentioned above). [Note 1]
- (6) Those who have been enrolled for four years or longer in a six-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine, who have completed outside Japan a 16-year school education (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), who have completed a 16-year school education of a country other than Japan by taking a program of a university in that country through distance learning in Japan (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or who have completed a program of an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, whose graduates are regarded as having completed 16 years of formal education (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), and have been recognized as having acquired prescribed credits with excellent results at the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School. [Note 2]
- (7) Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 39, Ministry of Education, 1955):
  - ① Who studied medicine or dentistry at a department of medicine or dentistry of a university set up by the former University Order (Imperial Ordinance No. 164, 1918).
  - ② Who graduated from the National Defense Medical College set up by the Act for Establishment of the Ministry of Defense (Act No. 164, 1954).
  - ③ Who have completed a master's or professional degree program, who are eligible for a master's degree, or who have been enrolled in a doctoral program for two years or longer, acquired 30 credits or more, received necessary research instruction, and who have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having academic abilities equivalent to those of persons who completed



- 6-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine.
- ④ Who have been engaged in research at a university or research institute after graduating from a four-year college or completed a 16-year overseas school education, and have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having academic abilities equivalent to those of persons who have completed a 6-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine. [Note 2]
  - (8) Those who are 24 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than a university graduate. [Note 2]

**Note 1: Applicants who graduated or are expected to graduate a university in a country in which it takes less than 18 years to complete formal education to the university level (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) and who don't satisfy criteria (5) above need to choose the preliminary selection specified in (8).**

**Note 2: Applicants who satisfy criteria (6), (7) ④, or (8) need to refer to "3. Authorization for Qualified Applicants" on page 13.**

### 3. Authorization for Qualified Applicants (If applicable)

Those who will apply under the application criteria (6), (7) ④, or (8) have to be authorized as qualified applicants. Submit the documents in the table below by the deadline. If you send the documents by mail, use registered express mail.

Documents to submit	(1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Graduation/completion certificate from the last school you attended (3) Academic transcript (4) Research certificate (including period of time and contents of your research) (5) Materials from research results
Deadline	Friday, July 3, 2020
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

\*The application form for the authorization for qualified applicants is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

### 4. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office by the deadline below, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheelchair are also advised to consult the Entrance Examination Office, as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

Documents to submit	(1) Application for Consultation * (2) Medical Certificate (3) Other document that shows the conditions of disabilities (e.g. a copy of the disability certificate)
Deadline	Friday, July 10, 2020
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

\*The application form for consultation is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

## 5. Application Procedure

### (1) Application documents

Application documents		Summary
1	Application form, exam admission card, and photograph card	Fill out the prescribed form except columns marked with. * The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and the program name you are applying for on the back of the photo and glue it to the designated spot.
2	Receipt of the examination fee (with date stamped)	Pay 30,000 yen for the examination fee and glue the receipt to the specified area on the application form. See (2) for payment method on Page 15. <b>*Those who are expected to graduate a master's program of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine in September, 2020 do not need to pay the examination fee.</b> <b>*Government-financed international students do not have to pay the fee. Submit the certificate of a government-financed international student, which is issued by your college. A copy is acceptable.</b>
3	Research proposal	Describe the research you intend to do in the Doctoral Program. See (3) Guideline of Research proposal on Page 15.
4	Certificate of completion, or certificate of expected completion, of 6-year undergraduate program or master's program	<b>*Those who have completed or are expected to complete the program of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine or government-financed international students do not need to submit.</b>
5	Academic transcript	Must be sealed. • Of the 6-year undergraduate program, or master's program of the university you completed. <b>*Those who have completed or are expected to complete the program of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine or government-financed international students do not need to submit.</b>
6	Summary of undergraduate or master's thesis	Submit a summary of your undergraduate or master's thesis, or a progress report if the thesis has not been completed yet (on A4 sheets, 3 pages maximum). If you did not write the thesis, submit an academic thesis or report that shows your academic abilities.
7	Name and address card (for sending notification of admission)	Fill out your name, address and postal code on the prescribed form.
8	TOEFL-iBT Examinee Score Report/ TOEIC L&R Official Score Certificate/ IELTS Test Report Form	Submit the original certificate of one of the following exams. Tests which were taken after April 1, 2018 are acceptable. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL-iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher <b>Only those who wish to be exempt from the English test</b>
9	Self-addressed stamped envelope for sending the exam admission card	Fill out your name, address and postal code, and put postage stamps worth 374 yen on the prescribed small envelope. <b>*The stamps are unnecessary if you choose to come to the Entrance Examination Office to pick up the card. Just write your name on the envelope.</b>
10	Certificate of Residence, or copy of Residence Card	Certificate of Residence must be one issued within 6 months before the date of submission, and must contain the description of visa status and period of stay. <b>*Non-Japanese citizens only</b>
11	Approval for application	Submit an approval made and stamped by the manager or president if you are employed by a public or private organization.

Note: A Japanese translation must be attached to certificates which are issued in languages other than Japanese or English.

(2) Payment method for examination fee

Pay the examination fee using the prescribed form at a post office or Japan Post Bank within the designated payment period as indicated below.

Note that post offices and Japan Post Banks are normally open from 9:00 to 16:00 on weekdays and closed on Saturdays, Sundays and national holidays.

Examination	Payment Period
General Admission	From Monday, June 29, 2020 to Friday, July 10, 2020

Note 1: The examination fee is not refundable except upon request in the following cases:

- a. The payer did not apply.
- b. The application has been rejected.
- c. The applicant has paid the examination fee twice.

\*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

E-mail: [nyushi@obihiro.ac.jp](mailto:nyushi@obihiro.ac.jp)

Note 2: An application will be rejected if the examination fee is not paid or the payment receipt is not dated by the post office or Japan Post Bank.

(3) Guideline of research proposal

**You must consult your prospective supervisor before making the research proposal.** The proposal must be within 2,000 characters in Japanese, or two A4 sheets in English. It must include the following three points:

1. Background and purposes of the research (in detail)
2. Outline of research method (You do not need to describe research techniques in detail. Just briefly explain the outline of the whole research procedure.)
3. Expected research results (Detailed description is not necessary. Briefly describe expected results in context of the research purposes.)

\*The form for the research proposal is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

(4) Application method and application period

Enclose all the application documents in the prescribed envelope or an A4-sized envelope and bring it directly to the University or send it by mail.

① Direct Application: Accepted between 8:30 and 17:00, Monday through Friday.

② Mailed Application:

The documents must be sent by registered special delivery mail. **The documents have to arrive by 17:00 on the last day of the application period.** Documents arriving later than this will not be accepted, so be sure to send them early enough to avoid postal delays.

Examination	Application Period
General Admission	From Monday, July 6, 2020 to Friday, July 10, 2020

(5) Submit the application documents to:

Entrance Examination Office, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Note: The application documents will not be returned.

## 6. Method of Selection

### General Admission

Results from the examination of academic ability and interview (about the outline of the undergraduate or master's thesis or past research contents, the research proposal and the academic transcript) will be examined.

Description	Allotment of marks	Summary
English	100	Skills of reading texts on veterinary science * Those who satisfy one of the test score below are exempted from the English examination and are given 80-100 points according to our graduate school regulation. The test score must be taken after April 1, 2018. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher
Specialized subjects	200	Questions in each field of education and research instruction are given. (See Pages 20-21.)
Interview	100	Personal interview by multiple interviewers in each field of education and research instruction, and presentation on the research plan (10 min), and oral examination about it (20 min).

## 7. Time, Date and Examination Location

General Admission starting in October, 2020

Date	Description	Time	Location
Tuesday, August 18, 2020	Specialized Subjects	10:30—12:00	Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
	English	13:00—14:30	
Wednesday, August 19, 2020	Interview	To be arranged after application	

**\*Bring or mail the Microsoft Power Point data to be used for the presentation on the interview day to Entrance Examination Office by Friday, August 14, 2020.**

\*From 10:00 a.m. on Monday August 17, 2020, the location of the examination room will be posted at the entrance of the General Research Building I. However, entry into the examination room is not allowed.

## 8. Notification of Admission

### (1) Schedule

Examination	Date
General Admission	10:00 a.m., Tuesday, August 25, 2020

The code numbers of accepted students are displayed at the entrance of the General Research Building I and on the website (<https://www.obihiro.ac.jp/en>).

- (2) The successful applicants who have been studying in Obihiro University should come to the Entrance Examination Office with admission card and receive the notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures. To the other successful applicants, these documents are sent by mail.
- (3) Telephone enquiries regarding admission are not accepted.

## 9. Enrollment Procedures

### (1) Enrollment Period

Examination	Period
General Admission	From Tuesday August 25, 2020 to Friday September, 2020

**\*The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**

### (2) Enrollment Fee: 282,000 yen

Note: Those who complete the master's program of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine in September, 2020 and enter this program do not need to pay the enrollment fee.

### (3) Other Expenses

Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 4,730 yen  
(Insurance for accidental injury in University activities)

Tuition (subject to change)

First semester: ¥267,900, Second semester: ¥267,900,

\*The above tuition is the current amount. If the tuition is changed at the time of entrance or while enrolled, the new tuition will be charged from the time of change.

\*Payment deadline is the end of April for the first semester tuition and the end of October for the second semester tuition.

## 10. Privacy Statement

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies" and the "National University Corporation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For successful applicants only, personal information mentioned above in (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (e.g., study guidance) and student support (e.g., scholarship application and tuition exemption application) after entering Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

**Description of the Doctoral Program**  
**Veterinary Science**  
**Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture**  
**Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine**

**1. Education Policy of the Doctoral Program of Veterinary Science**

**Admission Policy**

The Doctoral Program of Veterinary Science at the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture, utilizing its educational systems which involve “fusion of veterinary medicine, animal science and agriculture” and “cooperation with overseas universities” aims to train researchers and educators who, while keeping globalization of food and agriculture in mind, have technical knowledge, creativity, and excellent research and development skills, and excellent educational abilities as well as great personality. For that purpose, we want students:

1. Who aim to be researchers and educators who can conduct international-standard, advanced research with global views on veterinary medicine, animal science and agriculture, and have good communication skills,
2. Who are eager to contribute to society domestically and globally by giving back to society their research results in the field where veterinary medicine, animal science and agriculture are fused, and by playing a central role in maintaining animal and human health, conserving the global environment and ecosystem, and developing industries and life science,
3. Who want to pursue comprehensive knowledge and advanced research on a specific area of the veterinary science program, and
4. Who have acquired basic knowledge and skills, and application skills, up to the bachelor’s level in veterinary science and related fields, and basic knowledge and skills, and application skills, up to the master’s level in other fields.

**Diploma Policy**

In the Doctoral Program of Veterinary Science, the degree shall be conferred on persons who have taken the courses set up in the curriculum and obtained the required credits to complete the program, and have acquired the following skills that enable them to shoulder advanced research using their up-to-date knowledge and skills in the fields of veterinary medicine such as basic veterinary medicine, clinical veterinary medicine and public health, and interdisciplinary fields of the above:

1. Ethics
  - Ethics based on up-to-date knowledge and skills in the fields of veterinary medicine such as basic veterinary medicine, pathological veterinary medicine, applied veterinary medicine and clinical veterinary medicine, and based on deep understanding of highly advanced medical techniques and of social activities for companion, industrial and wild animals,
2. International competence and leadership
  - Abilities to conduct international-standard, advanced research in a wide range of fields of life-scientific research including the intravital micro-level, the macro-level dealing with individuals and populations, and animal production.
  - Abilities to conduct international-standard, advanced research in the field of ecological research dealing with the inside of organisms, individuals and populations.
  - A wide range of technical knowledge on veterinary life science, and abilities to conduct international-standard, advanced research.
  - Abilities to contribute to the improvement of food safety and human and animal health utilizing highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.
3. Communication skills:
  - Internationally competent presentation skills and communication skills necessary to explain their process of thinking and making judgments with regard to their specialty in the fields of basic veterinary medicine, pathological veterinary medicine, applied veterinary medicine and clinical veterinary medicine.
4. Technical knowledge and skills:
  - Abilities to utilize highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and to utilize excellent analysis and livestock

management techniques in veterinary medicine and veterinary life science; abilities to contribute to the improvement of food safety and human and animal health; global views with regard to the fields of veterinary medicine, animal science, agriculture, and their interdisciplinary fields; practical skills and leadership to meet various social needs according to the globalization of veterinary medicine, and; international-standard, advanced research skills.

### **Curriculum Policy**

In order to have the students acquire the knowledge and skills specified in the diploma policy, we conduct education paying attention to the following points:

1. Developing high-level of ethics as a researcher:
  - We offer courses to develop high-level of ethics using e-learning and active learning.
2. Developing leadership:
  - We offer courses for students to acquire advanced knowledge and skills, and an ability to manage the whole in order to develop researchers and educators with practical skills and leadership, which enable them to satisfy social needs.
3. Developing international competence:
  - We offer courses that enhance skills for presentation, debate and academic writing for students to play an active role globally in the future.
  - We offer courses to develop international competence such as research internships and fieldwork in cooperation with overseas universities for students to acquire advanced research skills.
4. Developing comprehensive research abilities as a doctor:
  - We offer common courses as well as selective courses from other degree programs for students to acquire a wide range of highly technical knowledge interdisciplinarily from the viewpoint of fusing veterinary medicine, animal science and agricultural studies.
  - We offer courses for students to acquire international-standard, advanced research skills that aim to resolve global issues.
5. We offer “special core course” as required courses, which aim to have students acquire highly advanced technical knowledge and skills on veterinary medicine and related fields in order to develop researchers who can play an active role and make contributions globally.
6. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on food safety, and animal and human health, involving highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.

### **2. Completion of programs and awarding degrees**

Students are awarded the Doctoral Degree in Veterinary Science after they completed the program, i.e., those who have been enrolled in the Doctoral Program of Veterinary Science at the Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture of our university for four years or longer, and have earned the required 30 credits, who have received the necessary research instruction, and passed the examination of their doctoral thesis in addition to the final examinations of the courses relevant to the thesis.

However, for those who achieved excellent results, the period enrolled in the graduate school could be shortened to three years.

### **3. Special long term limit**

This system allows students who have a job or other special considerations to complete their degree within an agreed-upon time (maximum of 8 years) beyond the standard term limit and still pay the same fee as those students who complete their degrees in the standard amount of time.

In principle, those who want to use this system have to apply for it at the time they enroll after consulting with their prospective supervisors.



#### 4. Supervisors

Name	Position	Specialized Subject	Field of Research	Contents
Makoto Igarashi	Professor	Veterinary Parasitology	Diseases Control	Parasitism of protozoan parasites
Toshiaki Ishii	Professor	Veterinary Pharmacology	Neuropharmacology	Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the central nervous system
Toru Ishikawa	Professor	Veterinary Physiology	Cell Physiology	Cellular regulatory mechanisms and structure-function relationships of ion channels and transporters involved in epithelial transport
Haruko Ogawa	Professor	Veterinary Epizootiology	Veterinary Epizootiology	Study on animal viral diseases
Shinichiro Kawazu	Professor	Veterinary Parasitology	Preventive Medicine for Protozoan Diseases	Development of novel vaccines and therapeutic approaches based on functional analysis of the protozoan genome and proteins
Keiko Kawamoto	Professor	Microbiology	Immunology of Infectious Disease	1) Molecular and epidemiological research on infectious diseases of terrestrial and aquatic animals 2) Allergy and Immunology
Xuenan Xuan	Professor	Veterinary Parasitology	Host Defense	Studies on analysis of host defense immunity and development of recombinant vaccines against protozoan parasite infections
Yoshiyasu Kobayashi	Professor	Veterinary Pathology	Diagnostic Pathology	Pathogenesis and diagnosis of animal diseases
Motoki Sasaki	Professor	Veterinary Anatomy	Veterinary Anatomy	Functional morphology in vertebrates
<input type="checkbox"/> Hiroshi Suzuki	Professor	Laboratory Animal Science	Functional Genomics	Analysis of gene function <i>in vivo</i> by transgenic technology and development of reproductive bio-technology
Yasuo Nambo	Professor	Equine Reproduction	Equine Reproduction	1) Research area for theriogenology 2) Reproductive biology 3) Reproductive endocrinology in horses
Yoshifumi Nishikawa	Professor	Veterinary Parasitology	Infection Immunity	Study on onset mechanism of pathogenic protozoan diseases
<input type="checkbox"/> Hidefumi Furuoka	Professor	Veterinary Pathology	Pathobiological Science	The pathology of neuromuscular disorders and the pathology of infectious diseases (e.g., animal prion diseases, <i>Lawsonia</i> infection)

The Professor marked with  will retire on March 31, 2023. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

The Professor marked with  will retire on March 31, 2024. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

Name	Position	Specialized Subject	Field of Research	Contents
Motozumi Matsui	Professor	Theriogenology	Diagnosis and Therapeutics for Reproductive Diseases	Pathophysiology of ovarian and uterine disorder in cow reproduction
Norio Yamagishi	Professor	Veterinary Clinical Pathology	Bovine Medicine	Pathophysiology, Diagnosis, and Treatment of Bovine Diseases
Naoaki Yokoyama	Professor	Veterinary Parasitology	Diagnosis for Protozoan Diseases	Epidemiological survey of protozoan disease in domestic animals and development of its control strategy
Kayo Okumura	Associate Professor	Veterinary Microbiology	Bacteriology	Molecular mechanisms of bacterial pathogenesis and developments of diagnostic tools for bacterial pathogens
Akira Kubota	Associate Professor	Toxicology	Environmental Toxicology	Study on biological effects and mode of action of anthropogenic chemicals
Nao Tsuzuki	Associate Professor	Image diagnosis	Image Diagnosis	Research on image diagnosis for farm animals
Takahito Toyotome	Associate Professor	Veterinary Microbiology	Veterinary Mycology	1) Mycosis 2) Mycotoxicosis 3) Food Mycology
Toyoko Hiroi	Associate Professor	Veterinary Public Health	Pathogenic Bacteriology	Molecular mechanisms of bacterial infections and its pathogenicity. Development of diagnosis and detection methods of bacterial infections.
Shinya Fukumoto	Associate Professor	Veterinary Parasitology	Vector Biology	Infection mechanism of pathogens to the vector invertebrate
Kotaro Matsumoto	Associate Professor	Veterinary Internal Medicine	Large Animal Internal Medicine	Diagnosis and treatment of infectious diseases of large animals
Yoshikage Muroi	Associate Professor	Pharmacology	Neuropharmacology	Study on the central nervous system for controlling instinctive behaviors

### Application and enquiries

Entrance Examination Office,  
 Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.  
 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan  
 Tel: (0)155-49-5321 (direct line) (8:30 a.m. – 5:15 p.m., Monday – Friday)  
 E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

### Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<https://www.obihiro.ac.jp/en>>